



発行年月日

2025年9月30日

～ 夏から 秋へ 充実の2学期を過ごしています。 ～

先日気象庁より長期天気予報が出されました。気候変動によりまだまだ暑い日が続く予報が出され、今年も短い秋日和ののち、急に冬が到来し寒くなるようです。

9月は、どの学年も水あそびを中心に楽しみました。0歳児さんは1歳低月齢児さんと一緒にゴムチップで毎日水遊びを十分に楽しみました。ちょっと大きい1歳高月齢児さんは、この夏、身体いっぱい絵の具をつけ合い（たまに保育者の顔も絵具だらけ）全身で水遊びを楽しめました。

2歳児さんは、保育室すぐ前がまるで「我が家の庭」。泥場・砂場と力強い水道場が子ども達の夏を頼もしく 支えてくれました。実に「遅い夏」を過ごしています。以上児さんは、其々の学年のプールはもちろん、たまに、園庭の築山にブルーシートを敷きホースの水でちょっとしたウォータースライダーを作り歓声が上がりました。「保育士の遊び心」が子ども達の大きなワクワクに繋がっていました。少し大きくなった子ども達の心と身体が秋の活動へ向かう姿が楽しみです。

今年度、運動会の開催日を少し涼しい時期にと考え3週間ほど遅くしました。年少クラスの運動会は10月30日(木)。年中・年長合同運動会を11月6日(木)に予定しております。幼稚園開園当初から「より、子ども達が無理せずに力を発揮できるように」と園庭にこだわって執り行ってきました。途中数年間は運動公園を利用したこともありましたが、コロナの期間に工夫した取り組みから保育者が感じ学んだことが現在の運動会の姿に繋がっております。

「各年齢の発達に無理をせず一人一人が仲間の中で十分に力を発揮して楽しめる運動会」を目指して取り組んでおります。保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。

未満児さんは大勢の前で見てもらおうという体験に挑むよりも日々の安定した保育を充実していきます。しかしその中でしっかりと年長さんの「ソーラン節」をまねして踊る姿、よいどんごっこを楽しむ、かわいい未満児さんの姿が今年も楽しみです。

年少さんは、初めての運動会になります。1学期からの遊びや活動で付けてきた腕の力・足の力・跳ぶ力等・・・発揮して取り組みます。リズムの姿も4月当初に比べ随分と成長を感じます。当日は保護者の皆様も参加いただくプログラムを計画しております。どうぞ子どもさんの成長を身近で感じながら楽しまれて下さい。

年中・年長さんはすこしずつ室内での取り組みも始まり運動会を近くに感じてきている子ども達かと思えます。これから取り組みがクラスの高まりと一人一人の成長に繋がっていくように職員も心を尽くしていきます。

どうぞ、みんなで一緒に暖かく見守って頂きます様にご協力をよろしくお願いいたします。

9時までの登園・コドモン入力のおねがい

☆子ども達にとって貴重な朝のスタートが気持ちよく切れますよう、どうぞご協力をお願いいたします。

☆9時以降はコドモンを確認することが難しい為、9時までの連絡をお願いします。

それ以降は、直接幼稚園に連絡してください。

10月の行事予定表



◆10月 1日《水》2026年度 1号児入園願書受付日《9:30~12:00》
30日《木》 年少親子運動会 《予備日 31日・金》

【運動会について】開始時間等は各学年で異なりますので、後日発行の「運動会ニュース」でお知らせします。地域行事が3週に渡り土曜日に開催されますので、ほくぶ幼稚園年中・年長運動会は今年度も土曜日開催は出来ませんでした。通常保育も行っている日になります。駐車場の混雑が予想されます。

※ 駐車場には限りがありますので**各家庭1台**のご利用となります。（2台目の駐車は出来ません。）

※ 運動会参加人数調査のアンケート締め切り**10/1（水）**…以上児のみ

おかえりなさい！！

産休をされていた河合ゆりか先生が10月より復帰されます。0, 1歳児を担当します。
どうぞよろしくお願いします。

～親子ふれあい農園で冬野菜栽培始まる～



今年も冬野菜栽培の時期に合わせて9組の家族のふれあい農園がスタートしました。今年度で6回目になりリピーターの家族も増えてきました。交代で耕運機で畑を耕し畝づくりをしました。「どんな野菜をそだてようかな」「良かったね。大きくなってる!」「虫が・・・」と色々な共通の楽しいご家族の会話が弾みそうです。



食べ物への興味

ほくぶ幼稚園では年長さんが給食のメニューを見て食品カードを張り替えています。（事務室前にあるのでご覧ください!）ある日、年長さんの代わりに「あっ!メニューカードもしないといけない」と気づいた年中のAくん。「赤の食べ物（体をつくる）は鶏肉と卵と。。。」「黄色い食べ物（エネルギーになる）は玄米と白米と。。。」「これ〇〇君（その子の弟）にも教えにいきたいな」とBちゃん。その言葉に周りの子ども達も賛同し、未満児のお友達にもお知らせに行く事になりました。意気揚々と得意げに未満児クラスに入っていく、今日の献立と食品を紹介してくれます。

「ご飯を食べると筋肉もりもりになるよ」「野菜は病気から体を守るんだよー」と小さいお友達に伝えるとそのクラスの先生が「このクラスのお友達は、お野菜もりもり食べるからお休みも少ないんだね」と笑顔で答えてくれました!

自分たちは給食のお野菜減らしている事をその時はすっかり忘れていた年中さん。。。頼もしい中にもかわいらしい年中の姿でした。



全国障害者問題研究会－in 福岡－ 学んできました！！

ほくぶ幼稚園は 障害のあるなしに関わらず「一人ひとりを大切にする保育」を目指しておりますので
今回の研修会も保育者の子どもを見る目の学びになりました。九州の仲間たちと語り合い「またほくぶ
で力を合わせ頑張ろう。」と元気をもらいました。



一人ひとりのねがいを語り、つながり、発
達への権利をともに実現しよう

2025年9月20日(土) 12:45～

2025年9月21日(日) 15:00

九州産業大学

12名で参加してきました！！

「発達の障害」「発達のつまずき」とは
「遅れ」よりも、発達へのねがいの生まれ
にくさ、発達の矛盾の乗り越えにくさとし
て理解することを学んだ。

今回の講義で、「こうだからこうだ」と言
う考えは捨てて、見えない部分を観れる力
を養っていこうと思った。

年少特別支援担当 立石

子どもを客観的にみるだけでは、本当の姿は見え
て来ず、相手の中に入って（相手の立場に立つ
て）何を願っているのか、何に心を動かしている
のか、何と闘っているのかを想像、共感すること
が不可欠であると学んだ。

年長特別支援担当 家吉

【「発達障害とトラウマ」ASD の子どもに
視点をあてて】の講座は学齢期の事例を中
心に話がありました。学齢期だが、幼少期
の頃に満たされなかったところを丁寧に向
き合っていく必要があるのだろうなと思い
ました。また「育てにくさ」の積み重ねで
起きる親子関係や周囲に「わがまま」「自
分勝手」と判断され、それが虐待にも繋ぐ
ことを学んだ。

年長特別支援担当 宮崎

保育所と療育の連携も「インクルーシブ」とい
う言葉が新鮮で印象に残った。私たちの身近な
つながりとして小学校があり、ここの連携もイ
ンクルーシブの一つになると考える。今後も“つ
ながる支援”を意識し、大切にしていきたい。

特別支援主任 村上

【変わっていく社会の中で何を大切にしてい
くか】競争社会では、勝ち負けや評価に精神を集中
させていき、人間関係は分断され、孤立してい
く。発達は矛盾があるから、人と人はつながり、
支え合い、共感し合い、精神と人格は豊かにな
る。語り合い学び合うそのことが理解しあうこと
を学んだ。

以上児主幹 江口

子どもたちの今

9月になり、子ども達の生活とあそびに成長が見られてきました。年齢に応じた遊びや活動の中で、そして異年齢の同士の関わりの中で、子ども達の心と身体が育まれます。基本的な生活習慣も大事な時期です。

未満児



異年齢

年長さんと1歳児さん



以上児



郵便屋さんに来てくれました！

